

土 浦 市 議 会 新 勇 会

行 政 視 察 研 修 報 告

1. 期日

令和 6 年 2 月 4 日（日）～2 月 6 日（火）

2. 視察地・テーマ

宮崎県日南市：飫肥食べあるき・町あるき事業について

宮崎県西都市：西都古墳まつりについて

宮崎県児湯郡高鍋町：民間活力を活用した e スポーツと IT 学習について

3. 目的

- ① 飫肥食べあるき・町あるき事業は城下町である飫肥城周辺の個人商店が活性化のためにクーポン券付きのマップを販売し、観光客に好評である。本市においても亀城公園を中心とした商店街に同様の事業が導入できないかを調査、検討する。
- ② 西都市の古墳の数は日本有数であり、古代日本史においても日向国という日本創造に関係する歴史を持っている。本市にも新治地区、上高津地区にも多数の古墳群が存在しているが、その歴史的な遺跡を有効に活用しきれていない状況である。歴史を観光やまちづくりに活用している手法を学ぶことを目的とする。
- ③ e スポーツとはエレクトロニクススポーツの略で、電子機器を用いて行う競技、スポーツ全般を指す。2000 年ごろから e スポーツという言葉が使われ始め、2007 年に日本 e スポーツ協会設立準備委員会が発足し、2015 年に一般社団法人日本 e スポーツ協会が設立された。若者を中心に広がっているが、行政と民間が協働した形の事例を研究したい。

4. 主な質疑

西都市質疑

【鈴木】

Q 西都市内の古墳は日向国の時代からの歴史上の重要性の高い遺跡なので、普段からの管理が国、県の縛りが多く市の意向が反映されづらいのでは？

A 市の持っている土地以外は国、県の規制がとても厳しい

Q まつりを継続させるには小中学校の協力は？

A 担当課もなるべく協力をもらえるように努力したい

【田中】

Q 主役、踊り子の募集について

A 昔は市職員が強制的にやらされていた。現在は地元の金融団、企業に声かけしている。近年は募集に苦労している。

【菅井】

Q 3～5 歳の幼児の参加について、今後何か考えているか

A 太鼓を叩いたりする時間はあるが、作品の展示については今後考えていきたい

高鍋町質疑

【鈴木】

Q e スポーツに協力している企業側のメリットは

A 自社製品のeスポーツソフト販売につなげることができる

【田中】

Q 11/20の第1回のイベントは9名の参加であったが、元々は何名募集したか

A 10名の予定であったし、10名からの申し込みがあったが、当日1名辞退があった。その後部活で2名不参加で7名になり、1月末に受験が理由で1名辞退。現在、高校生3名、中学生3名。

5. 感想

【鈴木一彦】

飢肥城食べあるき、町あるき事業については、土浦市を含め観光地を持つ多くの自治体が一度は類似の事業を展開しているが、いずれも長続きはしていない。飢肥のこの事業が長続きしている要因は、商店街の人々が飢肥城に対して高い誇りを持っており、案内人の方々もとても熱心でした。今後も各商店の協力を得ながら、長続きができるであろうと感じました。

西都古墳まつりについては、非常に幻想的、かつ神秘的なおまつりで古代日本の文化を想像させるような完成度の高い内容でした。ただし、演者の方々が一般からの募集によるもので毎年変わったメンバーで行っているのが、長期継続に苦勞されている点が今後の課題であると感じました。本市においても、下高津古墳群や坂田古墳群を有しておりますが、同様の行事を行うような発想は全くなく今後導入できるかどうかを検討する必要があると感じました。

民間活力を活用したeスポーツについて、行政が場所を提供し、民間が運営する形で本事業を展開していました。参加者は中高生中心で構成されていましたが、部活動や受験勉強との兼ね合いが課題となり、1年間を通しての一定数の参加者の確保が大きな課題であると感じました。また、場所が郊外にあるので保護者の送迎が必要となるのでその点が課題です。本市で導入する場合は、駅周辺で拠点を作らなければ、参加者の確保に苦勞すると感じました。

【島岡宏明】

歴史に基づいた事業2件と現代的なeスポーツ、IT学習について視察をいたしました。

飢肥城下というまちは古くは坂東武者の伊東氏が治めた土地であり、その流れを汲む住民の方々が支えているまちでした。明治時代の小村寿太郎が生まれた土地でもあり、武家屋敷が立ち並ぶ街並みに商店街が形成されています。一軒一軒のお店が地元でしか手に入らない商品を扱っておりました。

西都古墳祭は住民の積極的な参加により成り立っているのが、資金面など苦勞してい

るようですが、継続に対する熱意が強く住民主導のまちづくりであると感じました。

e スポーツについては、茨城県の大井川知事は積極的に導入を図ろうとしているようなので、私たちも協力していきたいと思います。

田中義法

飫肥城下町は市と民間が共同で町おこしをしている感じが伝わってきました。

街の歴史を見学してもらい商店街での街の活性化や魅力ある品物を販売している姿が、

御客様を呼び込んでいると感じました。やはり継続する事が大切だと思います。

土浦でもドリンクラリーを不定期で行いましたが、定期的に継続する事でいつ土浦に行っても食べ歩きができ、市内めぐりができるように考えていきたいです。

又、西都市ですが、古墳の数の多さ、現状維持している大きな前方後円墳が残っていることに驚きでした。その古墳を活用しての街おこし事業を行っているが今一つ伸び悩んでいる状況を聞き少し残念と感じました。土浦市も上高津貝塚や武者塚古墳などの文化財のPRも含め郷土芸能や、企業とのコラボレーションなどで身近に国指定重要文化財に触れてもらえるイベントなど検討していきたいと思います。

次に高鍋町eスポーツの取り組みについては大変興味深いです。今、国内でもゲーム産業として評価を得て他のスポーツのプロアスリートがプロになる為の仕組みと同様にeスポーツ選手がプロとしてプレイできるような仕組みを受けられるようになってきています。

これから e スポーツへの参加を推進し育成するためには講座や場所の提供なども含め一定の参加者を集め継続するための検討をしていく余地があると思います。

【2/4～6 視察についての考察】

《日南市》

飫肥城下町の取り組みとして力を入れている食べあるき町あるき事業では、風情ある町並みを様々な施設を見学しながら歩き回りました。歴史ある建造物や城下町の魅力は、どこか土浦市と重なると感じる空気で、中でも魅力的な取り組みとして、まず1点目に用水路の鯉が素晴らしいと感じました。屋敷街の中に整備された用水路ではカラフルな鯉が元気に泳いでおり、涼しげで落ち着いた町並みに色を添えてくれている鯉が美しく、土浦にもあったらいいなと思い、いつまでも眺めてしまうほどでした。2点目は食べあるき町あるきを楽しめる「あゆみちゃんマップ」という取り組みについてです。こちらは、1,600円でクーポン券付きのマップを購入し地域の名産品や食べ物と引き換えたり各施設に自由に入出することが出来るという内容でした。地域の方や観光客まで幅広く楽しめる取り組みであると感じ、また訪れたいと思いました。土浦市でもまた訪れたいと思ってもらえるようあゆみちゃんマップのような取り組みが出来れば面白いのではと感じました。

《西都市》

日本最大級の古墳群として有名な西都市は、西都古墳祭りが有名で市役所で説明を受けた際も大きなイベントとして大々的に掲げていることが伺えました。しかし、年々人口の減少や若者離れが深刻化しておりニニギノミコトとコノハナサクヤヒメの2人の恋の物語のお役を決めることが少し大変であること等課題も聞くことが出来ました。

外部の私からポスターやパンフレットを見た際には大変魅力的であり、参加してみたいと感じる内容でしたが、市内外のPR活動をもう少し多く取り入れることでもっと興味関心を持つ人が増えるのではないかと感じました。

また時期を見ながらお話を伺いたいと思い、今後も参考にしていきたいと思います。

《高鍋町》

町の飲食店の数が非常に多く、夕方になると地域が賑わいを見せる高鍋町の魅力は、地域の方々のあたたかさや柔らかさ、交流していく気持ちの強さにあると感じました。多くの人が飲食店を使って盛り上げていこうという考えであることが見受けられ、リーズナブルな価格で何軒もはしごし、毎日たくさんの人々が集まるという話を聞きました。土浦市とは一味違った町の空気は大変おもしろく魅力を感じました。また、VIVA CAGUCCIの視察ではeスポーツが活性化しており受講生で賑わいを見せているとのことでした。小さな町の中に昼も夜も多くの人で賑わいを感じさせる高鍋町の今後の未来が非常に気になり、若者が楽しめる環境は見習っていききたいと感じるところでした。

黒木本店の見学の際は、地域の名産である有名なお酒を多く取り扱っており、大型の機器類も多数取り揃えており初めて見るお酒造りの過程に発見だらけの時間でした。お酒の良い香りと時間をかけて素晴らしいお酒が仕上がることを知ることができ、貴重な時間を体験することが出来ました。









